

## EVの導入促進について

## 1 EVを取巻く社会動向等について

## (1) 原油価格の高騰

原油価格が史上最高値を更新し続ける中、ガソリンの小売価格が7月現在で180円を突破しており、普及構想を発表した平成18年9月時点に比べ、約25%の値上がりとなっている。

## (2) 洞爺湖サミット

平成20年7月7日、洞爺湖サミットが開催され、「我々は、2050年までに世界全体の排出量の少なくとも50%の削減を達成する目標というビジョンを、UNFCCC（国連気候変動枠組条約）のすべての締約国と共有し、かつ、この目標をUNFCCCの下での交渉において、これらの諸国と共に検討し、採択することを求める。」という首脳声明が出された。

サミット開催に際し、自動車メーカー各社からエコカーが提供され、EVも、サミット会場での郵便集荷配達業務などに活用された。

## (3) 自動車メーカー等の主な動向（新聞報道から）

- ◇1/21 日産・ルノーが、2011年EVのイスラエルへの供給を発表（後日デンマーク、ポルトガルでの供給も表明）
- ◇5/19 日産が、NECグループとの合弁企業での次世代電池量産と、2010年EV県内先行発売を発表
- ◇6/ 2 郵政事業会社が、所有する全車両を電気自動車に転換するとの新聞報道
- ◇6/17 三菱自動車が、プジョーとEVで提携すると公表
- ◇6/27 富士重工が、スバル プラグイン ステラ コンセプト開発を発表

## 2 県の取組み

- ◇1/7 地域から地球復興を実現するため、「クールネッサンス宣言」発表
  - 11のリディングプロジェクトの中にEVの取組を位置づけた
- ◇3/22 「かながわ電気自動車普及推進方策」を策定
- ◇4/15 方策のうち県の取り組みを「EVイニシアティブかながわ」として発表
- ◇4/21 首都圏フォーラムにて「EVイニシアティブかながわ」を説明し、協同した取組を呼びかけ
- ◇5/19 日産・NECグループの県内での電池生産に対し、神奈川県産業集積促進方策（インベスト神奈川）の適用を発表
- ◇5/29 アフリカ開発会議で「EVイニシアティブかながわ」をアピール
- ◇7/11 三菱自動車の i MiEV（ミニパト仕様）を県警察本部に導入
- ◇7/17 全国知事会で「EVイニシアティブかながわ」を全国にアピール

### 3 平成20年度の啓発活動について

平成21年の市販開始を目前にし、初期ユーザーの獲得に重点をおいた啓発活動を進めるとともに、市販後をにらんだEVの活用方法等を提案するモデル事業の検討を行う。

#### (1) 活動の方針

- ◇ 県及び市町村のEV実証試験結果を基に、航続距離や運転上のポイント等、導入検討に必要な情報をPRする。
- ◇ 大手ユーザーに対して、EVの実証試験や試乗会等を実施する。
- ◇ 個人ユーザー等に対して、引き続き協議会イベント等で積極的にPRする。

#### (2) 普及啓発活動の内容

- ◇ イベント計画（予定、調整中を含む。）

開催日	主催	イベント名	場所
6月7日(土)、8日(日)	横浜市	エコカーワールド2008	横浜赤レンガ倉庫
6月7日(土)	逗子市	環境&ゴミ・フェスティバル	逗子市役所
6月8日(日)	相模原市	さがみはら環境まつり	麻布大学
6月21日(土)	南足柄市	環境フェア	南足柄市役所
6月29日(日)	藤沢市	環境フェア	藤沢市民会館
7月7日(月)	箱根町	エコウェーブ(箱根会場)	彫刻の森美術館
<b>8月26日(火)、27日(水)</b>	<b>協議会</b>	<b>かながわEV展示会2008</b>	<b>横浜新都市プラザ</b>
8月30日(土)	産技短大	かながわエコカー競技大会	日産追浜工場
11月1日(土)、2日(日)	大和市	環境フェア	大和市役所
11月1日(土)	小田原市	エコカー体験フェア	小田原市内
11月15日(土)	大和市	大和市クリーンキャンペーン	大和市内
<b>11月～12月</b>	<b>協議会</b>	<b>小規模フォーラム(調整中)</b>	<b>調整中</b>
12月3日(水)、4日(木)	川崎信用金庫	かわしんビジネスフェア	とどろきアリーナ
12月中旬	県央センター	調整中	県央センター(厚木)
<b>3月21日(土)、22日(日)</b>	<b>協議会</b>	<b>かながわEVフェスタ2009</b>	<b>横浜赤レンガ倉庫</b>

※ 協議会独自の啓発活動のほか、県内各地で催される市町村イベント等の場を活用してEV体験乗車会などを行なう。

太枠の協議会主催イベントについては、普及啓発WGにおいて、具体的な内容の調整を行なう。「かながわEV展示会2008」については、別紙1を参照。

◇ 市町村へのEV貸出状況

市町村へ貸出し、行政業務における実証試験を継続していくことにより、普及PRと導入促進を図る。

現在、8市町村、3事業者から借用の要望がある。

<平成19年9月から導入しているスバルR1eの今後の実証試験の実施計画>

貸出期間	横浜580 こ 503	横浜580 こ 388
2008年3～5月	綾瀬市	県使用
6～7月	茅ヶ崎市	
8～9月	貸出市町村確定	市町村貸出を検討
10～11月	貸出市町村確定	
12月以降	※借用要望 8市町村、3事業者	

※平成21年度の市販を見込み、導入を前向きに検討（例えば、予算化する等）している市町村・事業者に対しては、積極的なPR・普及支援を行なう。

(3) 市販後（H21夏以降）のモデル事業の検討

多くの県民に、実際にEVを利用しながら、EVの持つ環境性能を実感できるような機会を提供するため、市販が見込まれている平成21年夏以降にモデル事業の実施を検討する。

<参考> EVモデル事業に係る協議会等でのこれまでの主な意見

- ◇ 用途として、観光などでの利用を考慮すべき。（第1,2回協議会）
- ◇ 対象別として、女性、子供、高齢者向けの利用。（第2,3回協議会）
- ◇ 形態別として、カーシェアリングやレンタカー等での利用。（第2,3回協議会）
- ◇ 使途別として、箱根駅伝の先導車、常設の体験スペース、各スタジアムでの利用。（第2,3回協議会）